

外部評価軽減要件確認票

事業所番号	2374900328
事業所名	グループホーム あいわ

【重点項目への取組状況】

重点項目①	事業所と地域とのつきあい（外部評価項目：2） 利用者の重度化が進んでおり、これまでのように買い物等に外出できない利用者が増えてきた。 ホーム周辺には法人が運営する事業所（特別養護老人ホーム、デイサービス等）が点在し、そこを訪れる音楽や踊りのボランティアに参加して楽しんでいる。	評価 ○
重点項目②	運営推進会議を活かした取組み（外部評価項目：3） 運営推進会議の開催日を偶数月の第3火曜日と定めており、年6回の会議開催である。 家族、地域、行政の参加を得て、ホームから活動を報告し、利用者の重度化、感染症などホームの課題を取上げて意見交換している。	評価 ○
重点項目③	市町村との連携（外部評価項目：4） 運営推進会議には、毎回、市・高齢福祉課職員と地域包括センター職員の両者が参加しており、ホームの現状を理解して適切な助言がある。 認知症カフェに関する市の考え方の説明があったり、家族からの質問にも的確に対応してもらっている。	評価 ○
重点項目④	運営に関する利用者、家族等意見の反映（外部評価項目：6） 家族会を設け、規約には家族と利用者、ホームの関わりについて明文化している。 遠方の家族には、毎月電話にて近況を報告し、2ヶ月ごとに便りの発行もある。便りでは、ホームのイベントを紹介し、写真を多用して家族にも喜ばれている。	評価 ○
重点項目⑤	その他軽減措置要件 ○「自己評価及び外部評価」及び「目標達成計画」を市町村に提出している。 ○運営推進会議が、過去1年間に6回以上開催されている。 ○運営推進会議に市町村職員等が必ず出席している。	評価 ○ ○ ○
総合評価		○

1. 外部評価軽減要件

- ① 別紙4の「1 自己評価及び外部評価」及び「2 目標達成計画」を市町村に提出していること。
- ② 運営推進会議が、過去1年間に6回以上開催されていること。
- ③ 運営推進会議に、事業所の存する市町村職員又は地域包括支援センターの職員が必ず出席していること。
- ④ 別紙4の「1 自己評価及び外部評価」のうち、外部評価項目の2、3、4、6の実践状況（外部評価）が適切であること。

2. 外部評価軽減要件④における県の考え方について

外部評価項目	確認事項
2. 事業所と地域のつきあい	(例示) ① 自治会、老人クラブ、婦人会、子ども会、保育園、幼稚園、小学校、消防団などの地域に密着した団体との交流会を実施している。 ② 地域住民を対象とした講習会を開催若しくはその講習会の講師を派遣し、認知症への理解を深めてもらう活動を行っている。
3. 運営推進会議を活かした取組み	(例示) ① 運営基準第85条の規定どおりに運用されている。 ② 運営推進会議で出された意見等について、実現に向けた取組みを行っている。
4. 市町村との連携	(例示) ① 運営推進会議以外に定期的な情報交換等を行っている。 ② 市町村主催のイベント、又は、介護関係の講習会等に参画している。
6. 運営に関する利用者、家族等意見の反映	(例示) ① 家族会を定期的（年2回以上）に開催している。 ② 利用者若しくは家族の苦情、要望等を施設として受け止める仕組みがあり、その改善等に努めている。 ③ 家族向けのホーム便り等が定期的（年2回以上）に発行されている。

【過去の軽減要件確認状況】

実施年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度
総合評価	○	○	○	○	○	○	◎				